



■請願趣旨

高時川は、長浜市余呉地区のブナ、ミズナラ、トチノキなどから成る豊かな森を水源とし、長浜市民の暮らし、文化、産業を根幹で支える重要な河川です。また高時川は、魚類や鳥類など、多種多様な生き物のすみかでもあり、姉川との合流付近から下流は、琵琶湖から遡上するアユの重要な産卵場としても知られています。

しかし、この長浜市民の宝、滋賀県民の宝である高時川が今、大きな危機にあります。

高時川はこれまでも度々濁って来ましたが、昨年8月4日から5日にかけて、高時川流域で発生した豪雨以来、濁り続けています。丹生川漁協と高時川漁協のアユ釣りは豪雨以降一日も営業ができず、姉川下流での昨秋のアユの産卵は例年より大幅に減少しました。農業への影響も懸念されています。

豪雨直後から濁水の調査に取り組む私たち住民有志は、高時川の支流である大音波谷川上流に位置するスキー場跡地を含む、源流域からの土砂流出が今回の濁水の要因であると考えています。滋賀県庁内の「高時川濁水対策連絡調整会議」も1月24日に発表した報告書で、同じ旨の報告結果を示しています。

高時川は、瀕死の重傷を負っています。いま何よりも優先して行うべきことは、深い傷の治療、すなわち源流域の土砂流出防止と森林の再生です。

スキー場跡地を含む源流域での土砂崩壊は甚大であり、高時川の再生は民間事業者の自助努力のみでは不可能です。私たちは滋賀県に対し、国の支援と長浜市との連携のもと、徹底的な濁水の原因調査、そして源流域の土砂流出の防止と森林の再生を含む抜本的な環境回復計画を優先的に策定・実施することを求めます。

■請願事項

別紙「高時川の抜本的な環境回復計画の策定と実施を求める意見書」を採択いただき、滋賀県知事、ならびに関係各大臣等へ提出いただくこと。